

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

「学び」にムダなんてない

1. 歴史は「覚える」から「考える」へ

- ・ ネット上に必要な情報があふれている現代では、集めただけでは何も生み出すことが出来ない。集めた情報を基に考え直すことでアイデアを生み出すことが出来る。

2. 先端的知識は、4~5 年後には陳腐化してしまう

- ・ スキルや知識は放っておけばどんどん陳腐化してしまう。
10 年前の紙申請するために覚えた知識・方法は、現在の電子申請するための基礎にはなっているが、それだけで業務を進めることはできなくなっている。
- ・ 人材価値は「時価」なので過去の実績に安穩とせず、旬の人材であり続ける努力が必要である。
※日々の業務の忙しさにかまけて、最新の情報をキャッチアップする時間をとることを忘れがちだが、習慣づけしていく。

3. 物事を立体的に見る

- ・ 専門以外の分野に起きている変化、新しいトレンド、他企業での取り組みをチェックしていく。
※MC の取り組みである「3 分動画」
コロナ禍における物事・環境の変化への対応を認識する。

4. 高い専門性と学びを通じて鍛える「人間力」

- ・ 現代は物事の変化のスピードがとても速い。
技術や経験の「深さ」、知識の範囲の「広さ」のスキルを身に着ける。
ただし、広さだけではどれも専門性が積み上げられていないので意味をなさない。
- ・ 汎用的なスキルを身に着ける。これは人との関わりで「コミュニケーション力」「調整能力」などの人間力が磨かれる。

意識を変えることは何歳からでもできる

- ・ 年齢を重ねることで得た経験から付加価値を生み出す。
- ・ 脳を鍛え続け、昨日より成長できるよう努力を続けていく。